

平成27年3月期（第18期） 本決算説明会

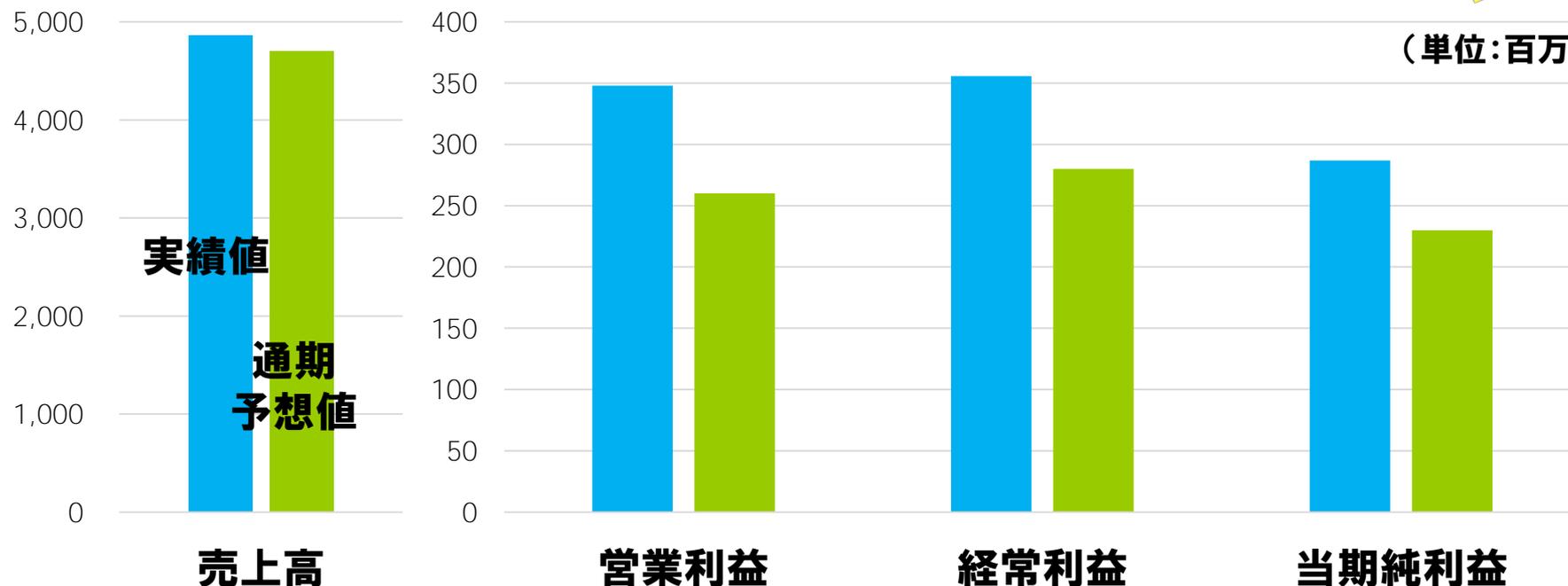
平成27年5月1日

株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



(単位:百万円)



	平成27年3月期				
	実績	通期予想	達成率	前期実績	対前期増減
売上高	4,864	4,700	103.5%	4,552	6.8%
営業利益	347	260	133.8%	280	24.2%
経常利益	355	280	127.0%	324	9.5%
四半期純利益	286	230	124.7%	354	-19.1%

四半期決算 連結損益計算書

	27年3月期 (構成比)		増減率	26年3月期 (構成比)	
売上高	4,864,014	100%	6.8%	4,552,566	100%
売上原価	2,846,606	58.5%	4.7%	2,719,427	59.7%
売上総利益	2,017,407	41.5%	10.1%	1,833,139	40.3%
販売費及び一般管理費	1,669,439	34.3%	7.5%	1,552,953	34.1%
営業利益	347,968	7.2%	24.2%	280,185	6.2%
経常利益	355,613	7.3%	9.5%	324,658	7.1%
税金等調整前四半期純利益	354,594	7.3%	△12.6%	405,941	8.9%
四半期純利益	286,732	5.9%	△19.2%	354,596	7.8%

内的要因

- ◆ 原価率が前年比改善し利益幅拡大
販管費は人員増、販促策拡大のためやや増加
- ◆ 前期に有証売却益、当期の税負担増あり純利益は減少となった

受注動向

- ◆ Jストリーム単体:4Qは1月低迷するも3月売上好調、トータルで計画以上の実績
- ◆ サイトシステム系大口案件あり制作売上増

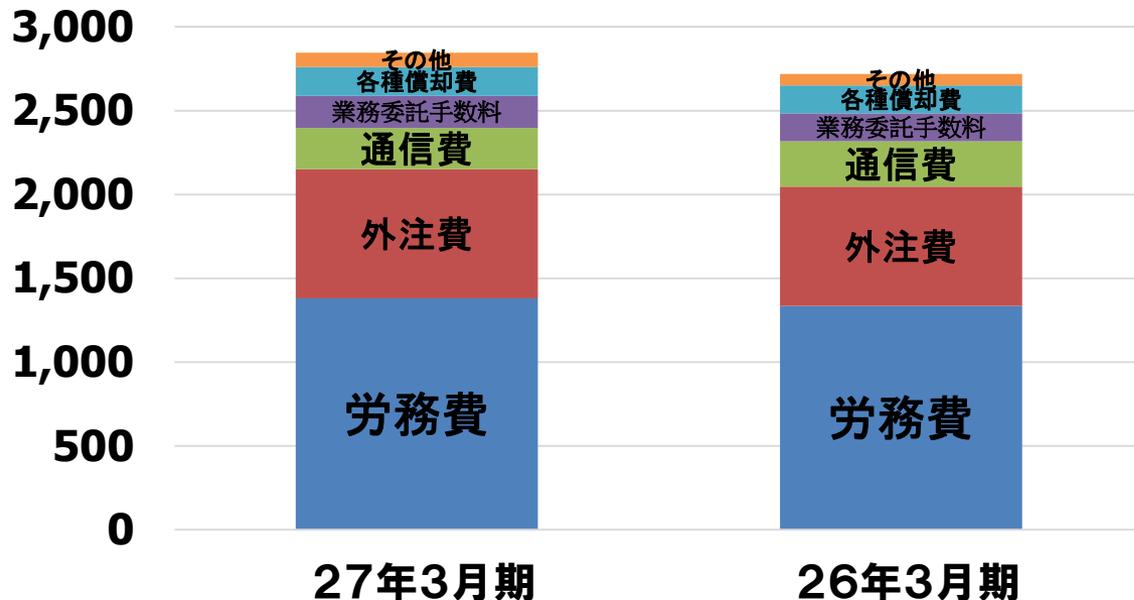
連結バランスシート

		27. 3月期末	主な変動要因(百万円)	前期末
資産の部	流動資産	3,184,517		2,809,656
	固定資産	811,321	現預金+417	721,979
	有形固定資産	312,260		245,765
	無形固定資産	382,597		355,116
	投資その他の資産	116,464		121,098
資産合計		3,995,728		3,531,636
負債の部	流動負債	592,641		459,255
	固定負債	134,517	未払消費税等+83	113,632
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241
		利益剰余金	706,070	419,737
		自己株式	△459,182	△459,182
	評価・換算差額等	708	1,176	
	少数株主持分	212,064	188,395	
	純資産合計	3,268,681	2,958,748	
負債・純資産合計		3,995,839		3,531,636

◆資本関連に大きな動きはなく当期利益の積み上げがされている

(単位:千円)

売上原価(連結)主要項目



人的費用の合計

(単位:百万円)

(労務費+外注費+業務委託手数料)

2,344百万円

(前年度:2,215百万円対比+5.8%)

連結従業員数 323名

(前年度:306名)

個別従業員数

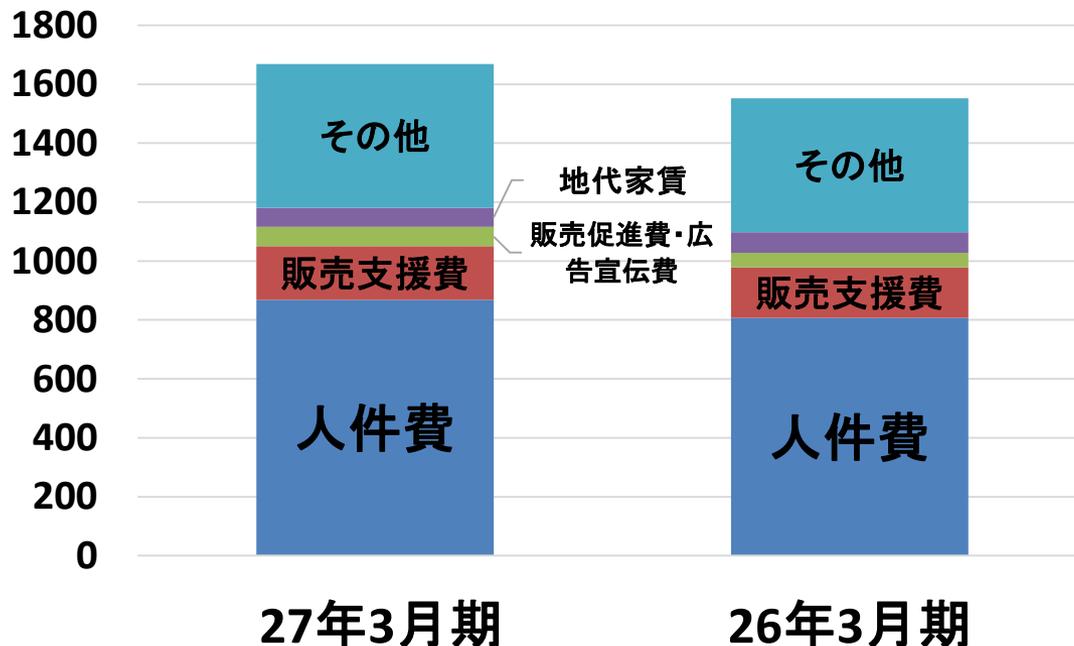
(子会社への出向者除) 207名

(前年度:191名)

	27年3月期		増減率	26年3月期	
労務費	1,381	48.5%	+3.6%	1,336	49.2%
外注費	770	27.0%	+8.4%	710	26.1%
通信費	246	8.7%	△9.1%	271	10.0%
業務委託手数料	192	6.8%	+15.2%	167	6.1%
各種償却費	171	6.0%	+2.4%	167	6.1%
その他(地代家賃等)、振替等	86	3.0%	—	68	2.5%
売上原価合計	2,846		+4.7%	2,719	前年比 △18.0%

- ◆ 原価部門人員増加等により労務費が増加
- ◆ 制作受注増に伴い外注費(特に映像系)増加
- ◆ サーバー移設等に伴い通信費削減

(単位:百万円)

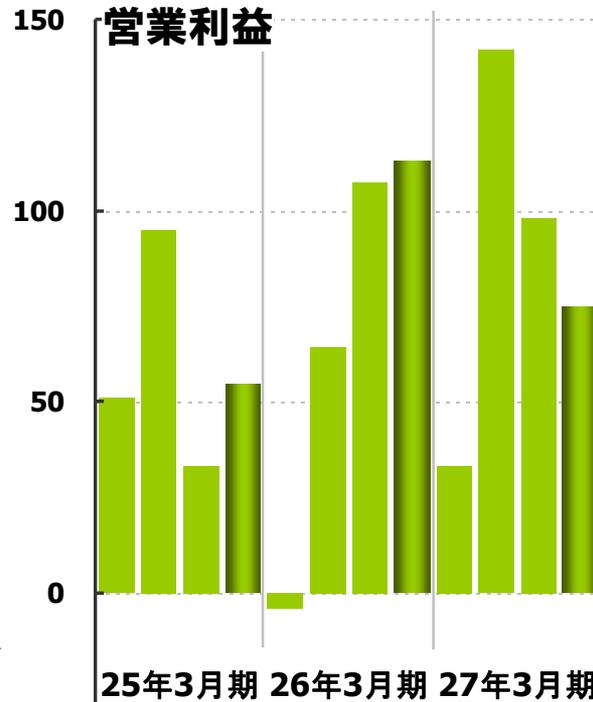
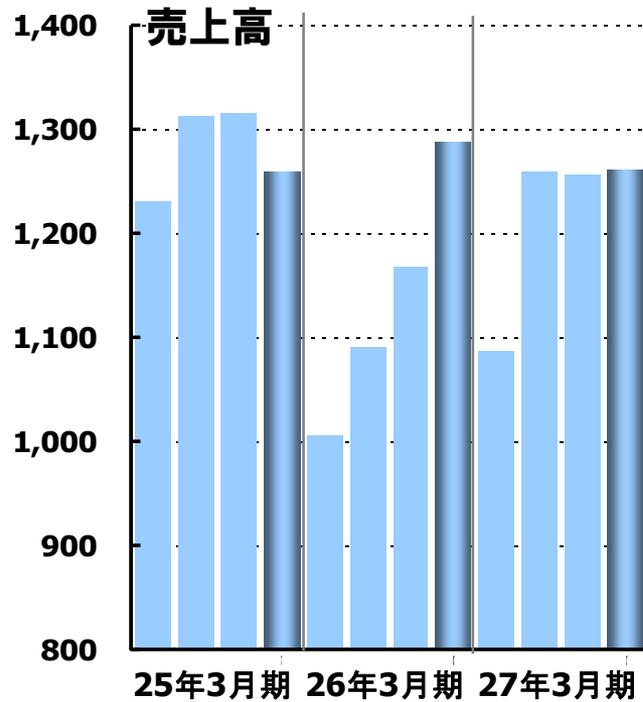


- ◆ 人員増に伴い人件費、イベント出展等増加に伴い販促費が増加
- ◆ 計画外の経費等急増は無い

(単位:百万円)

	27年3月期		増減率	26年3月期	
人件費	868	52.0%	+7.6%	807	52.0%
販売支援費	182	10.9%	+6.2%	171	11.0%
販売促進費・広告宣伝費	66	4.0%	+32.6%	50	3.2%
地代家賃	65	3.9%	△7.1%	70	4.5%
その他	488	29.2%	+7.5%	454	29.3%
販管費合計	1,669		+7.5%	1,552	前年比 △2.6%

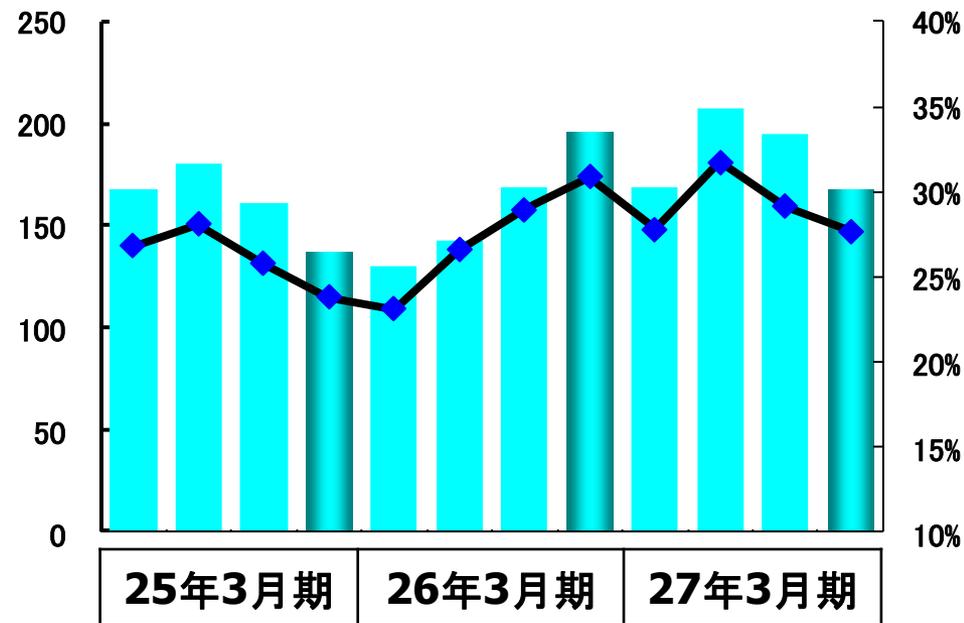
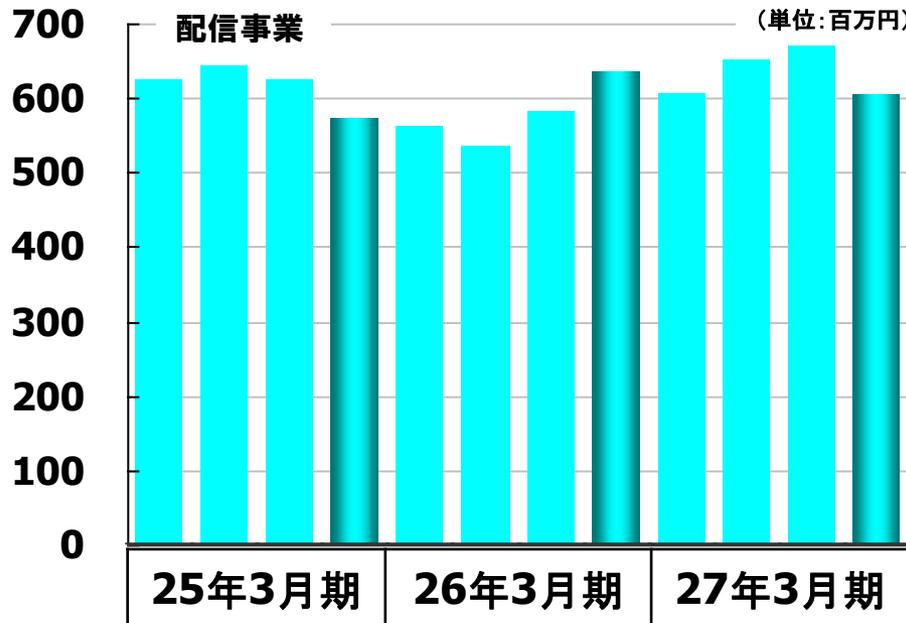
四半期別売上、利益推移(連結)



- ◆ 4Q:前年同期、今期2、3Qとほぼ同水準の売上
- ◆ 四半期毎の利益推移:下期に福岡ラボの設置や採用促進、調査・出展等販促施策とったことにより2→4Qと低下しているが計画の範囲内。
- ◆ 当期利益については前期売却益と今期の税負担増が影響

	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q
売上高	1,230	1,311	1,315	1,259	1,005	1,090	1,168	1,288	1,086	1,260	1,256	1,262
営業利益	50	95	33	54	△4	64	107	112	33	142	98	75
純利益	56	68	13	50	24	56	157	116	28	133	74	51
売上高	2,542		2,674		2,095		2,456		2,346		2,518	
営業利益	145		87		60		220		175		173	
純利益	125		63		80		273		161		125	

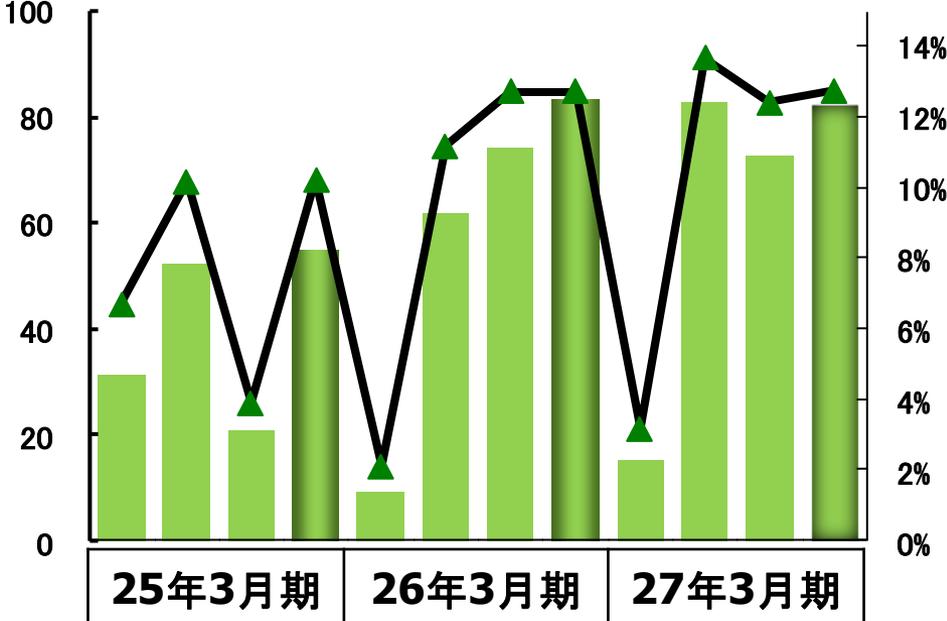
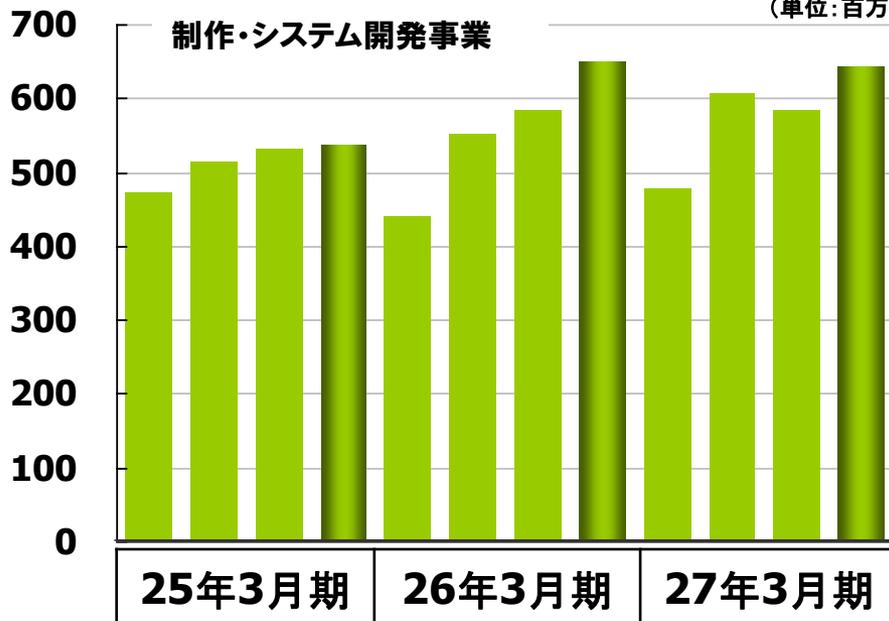
セグメント売上・営業利益状況：配信事業



	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q
売上高	623	643	624	574	563	535	582	635	606	652	670	604
営業利益	167	180	160	136	130	142	168	195	168	207	195	167
利益率	26.8%	28.1%	25.8%	23.8%	23.1%	26.5%	28.9%	30.8%	27.8%	31.7%	29.1%	27.7%

- ◆ 期を通じ医療系の利用を中心にライブ受注好調。
- ◆ 4Qはライブ案件の減少(特に1月)に伴い2、3Q対比売上減、それに伴い利益率が若干低下したものの、過去対比では高い水準を維持。
- ◆ オンデマンド配信拡販のため引き続きEQの機能を増強する。

セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業

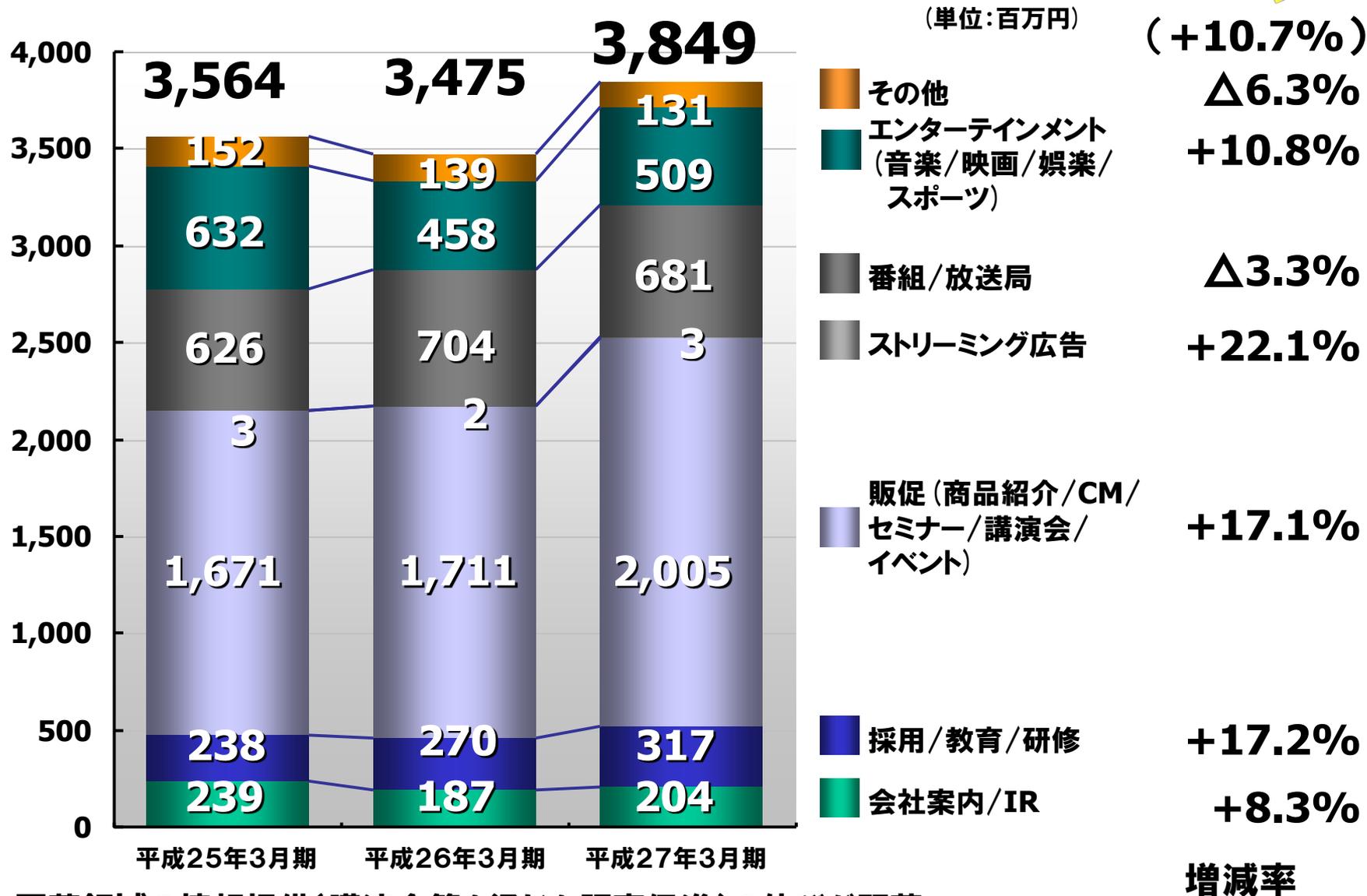


	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q
売上高	470	513	530	536	438	551	582	651	477	604	584	643
営業利益	31	52	20	54	9	61	74	83	15	82	72	82
利益率	6.7%	10.2%	3.9%	10.2%	2.1%	11.2%	12.7%	12.7%	3.2%	13.6%	12.4%	12.8%

◆ 医療系を中心とした情報提供系の映像制作、その配信サイト関連の制作受注が好調。

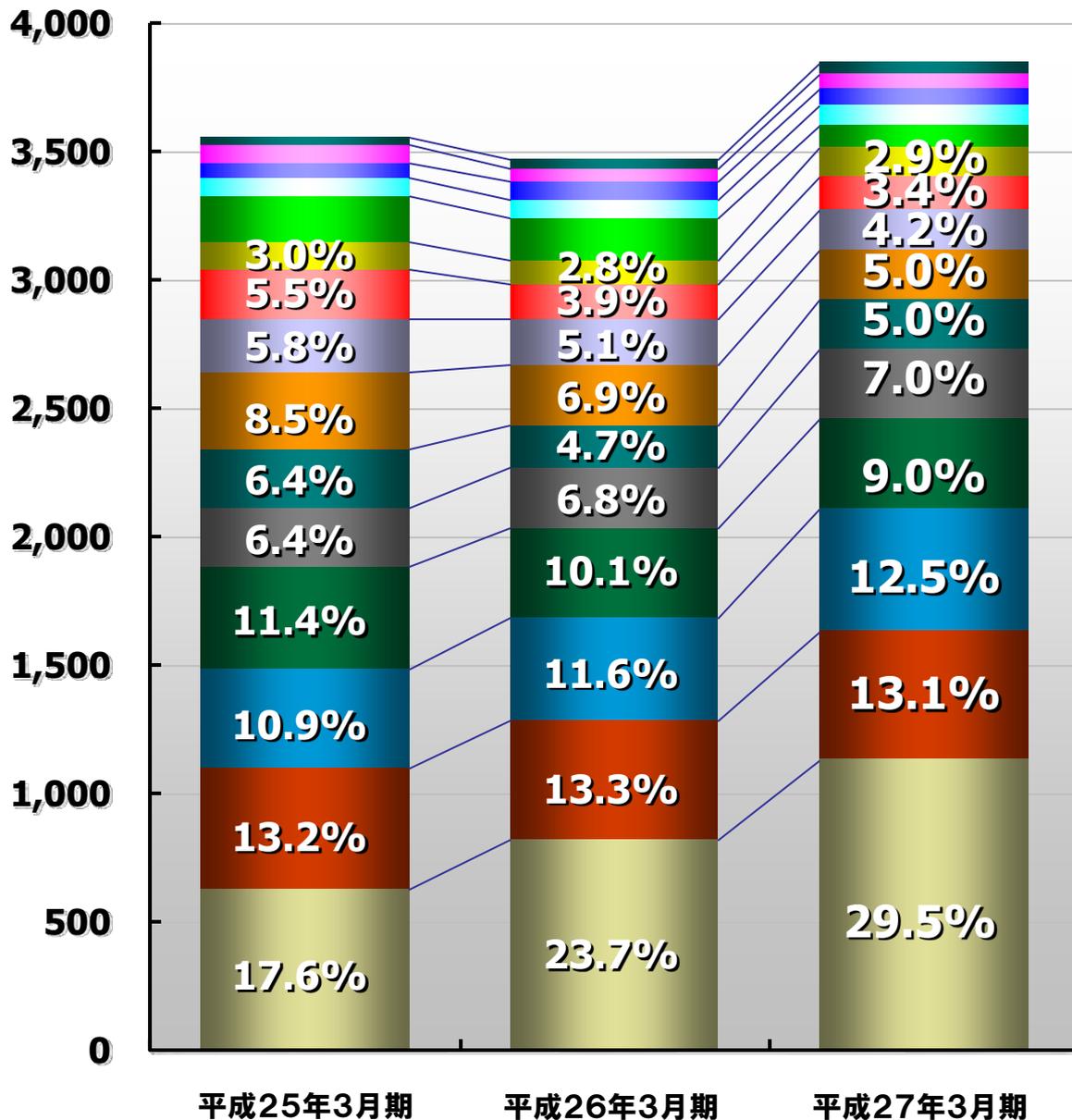
◆ 4Qはプロモーション関連の映像制作や大口のウェブサイト・コンテンツ配信関連システム制作があり売上増となった。

用途別売上比率(個別)



- ◆ 医薬領域の情報提供(講演会等を通じた販売促進)の伸びが顕著。
- ◆ 教育・研修用途の利用も伸びている。

業種別売上比率(個別)



- 団体
- 流通
- 人材紹介、派遣、アウトソーシング
- 教育
- その他
- その他サービス業
- コンテンツプロバイダー
- メーカー
- 通信、ISP、ネットワーク系
- 広告代理店
- 金融
- 映像、WEB制作・他制作
- IT (ポータル含む情報サービス業、システム)
- メディア
- 医療・製薬

医療セクターが更に伸長。

医療以外の上位5業種は「映像」が横ばい。他は10-15%程度の伸び。

設備投資状況

	投資項目	実施額 (年間予定額)
<p>27年 3月期</p>	<p>■ 配信事業関連</p>	
	<p>ネットワーク ハードウェア 111 (80) ネットワーク、サービス系ソフトウェア 125 (195)</p>	
	<p>■ 制作・システム開発事業関連 キャプチャー・ファイルサーバーシステム、エンコーダー 等 2 スタジオ機器 29</p>	<p>304 (345)</p>
	<p>■ その他(管理系含む) 業務支援システム、福岡ラボ等 38 (50)</p>	

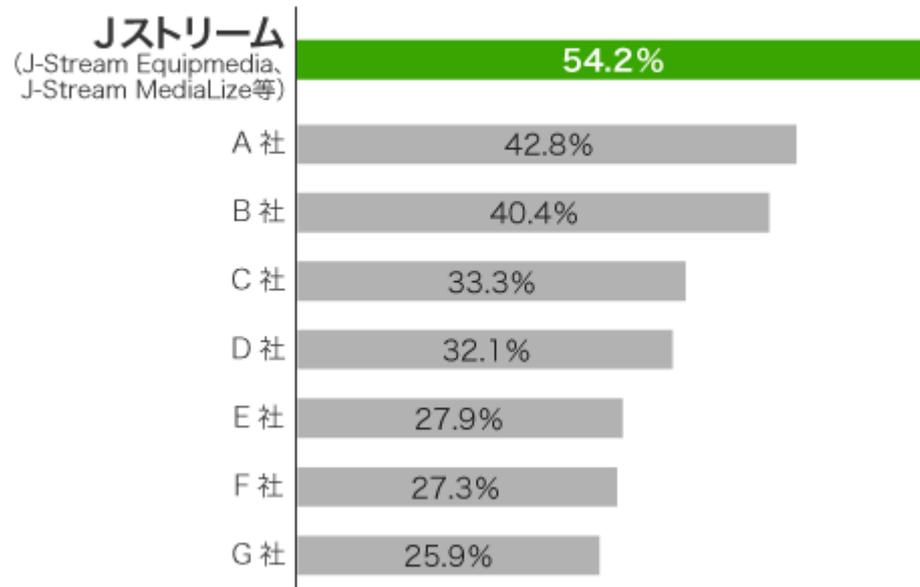
最近のトピックス

もっと素敵な伝え方を。



◆「国内オンライン動画配信システムに関する市場調査」 において、国内のオンライン動画配信システム市場で シェアNo.1を獲得

活用経験がある動画配信システム n=498



(2015年1月時点 デジタルインファクト調査)

株式会社シード・プランニング
が運営するデジタル領域専門
の市場・サービス評価機関「デ
ジタルインファクト」が実施し
た調査において利用率一位

「J-Stream Equipmedia」
「J-Stream MediaLize」
を始めとしたオンラインビデオ
プラットフォーム(OVP)に関
する調査

◆ ハイブリッドキャスト対応テレビ上のVODサービスにおけるデジタル著作権管理(DRM)機能 検証環境を無償提供

デジタル著作権管理(DRM)方式の一つである PlayReady® サービスのテストサーバーを構築し、ハイブリッドキャスト対応テレビでVideo on Demand(VOD)サービスの実施を検討しているIPTVフォーラム会員社に対し、無償で提供を開始。今後ハイブリッドキャスト対応テレビにおいてVODによるデジタルコンテンツの収益化を目論む放送事業者、VODサービス事業者等を支援

28年3月期 経営方針

もっと素敵な伝え方を。



**ライブ・Equipmediaを中心に
商品力強化・新規契約数を拡大**

**利益を確実に出せる体質強化を行い、
動画広告事業等、次の成長のための
布石を打つ**

重点戦略

- ◆ **配信サービスは引き続き契約件数増加に注力**
- ◆ **高成長したライブは医療領域依存から金融や社内情報共有等、新領域の開拓**
- ◆ **映像とWebの融合提案の強化、配信商材と組み合わせた運用提案の推進**
- ◆ **新規事業強化 → 動画広告の事業化推進**

	投資項目	実施額 (年間予定額)
28年 3月期	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配信事業関連 ネットワーク ハードウェア (47) Equipmedia、広告系等サービス投資 (183) ライブ機能拡充等各種サービス系 アプリケーション (40) ■ 制作・システム開発事業関連 映像関連機器更新、増強 (5) 提供サービス関連ソフトウェア (15) ■ その他(管理系含む) 本社増床、社内利用システム系HW (52) 業務管理、会計管理システム等 (75) 	415

◆ 従業員増加対応・職場環境改善のため増床実施予定(2Q)

通期連結業績予想

	平成28年3月期			
	通期予想	構成比率	前期実績	対前期増減
売上高	5,300	—	4,864	+11.6%
営業利益	350	6.6%	347	+0.8%
経常利益	350	6.6%	355	△1.6%
当期純利益	250	4.7%	286	△12.8%

- ・増床、新サービス投資(広告等)多くある程度の費用を見込んでいる。

説明内容についてのお問合せ先

決算説明内容についてのお問い合わせは

【メール】

<https://www.stream.co.jp/form/ir/>
（お問い合わせフォーム）

【電話】

電話 03-5765-7744（総務部広報IR課）

よりお寄せください。